

朝陽秋川荘（仮称）について

朝陽同窓会 幹事長 吉村 悟 （7回）

寄贈申出

朝陽秋川荘（仮称）は永野文久さん(13回)と永野(高田)恭子さん(15回)ご夫妻からの寄贈お申し出によるものです。ご夫妻は仕事を終わられた後ゆっくり自然を楽しみたいということで朝陽秋川荘を2年ほど前に買われました。しかしご主人の米国における事業をまだ続けざるを得なくなり、さらにお子様夫婦やお孫さんまでも米国長期在住ということになりました。そこでご夫妻の青春の思い出が詰まった新宿高校の生徒たちに秋川荘を使ってもらいたい、とのお気持ちで寄贈を申し出られました。

物件

門扉



建屋



朝陽秋川荘はJR武蔵五日市から車やバスで約40分の西多摩郡檜原村にあり、近くには温泉も湧き登山やハイキングの基地としても好適な所です。建物は木造平屋建2SDKで68平方メートル、土地も3,178平方メートルの山林が付いています。

ご夫妻が201年5月に購入された時の値段が2,000万円で、その後更にペンキ塗替え、備品等に200万円支払われました。

経緯

2018年12月に永野ご夫妻から朝陽秋川荘寄贈のお申し出を受け、寄贈を受けるための準備を事務局を中心に開始しました。主な活動は下記の通りです。

- ・1/13 第1回現地調査 吉村、西出、柴田眞樹 S18
- ・1/21 準備委員会編成 秋山小南 S15、柴田眞樹 S18
- ・2/12 第25回100周年実行委員会開催 「検討を進めること」を承認
- ・2/20 第57回代表幹事会開催、「更に検討を進めること」を承認
- ・3/02 第2回現地調査 永野さんより施設の維持管理等の詳細説明を受ける
秋山小南 S15、宮崎雅弘 S35、門司牧子 S38、西出、寺澤、大池
- ・3/11 準備委員会開催 指針の確認
秋山小南 S15、柴田眞樹 S18、吉村、西出、寺澤、大池
- ・3/20 第3回現地調査 檜原村役場、消防署、保健所を訪問 アドバイスを受ける
寺澤、大池
- ・3/25 第2回財団法人朝陽会理事会・評議員会に上申し、「財団法人朝陽会が取得すること」で承認、「必要費用は朝陽同窓会から寄付を受ける」

総会への上申断念

5月25日の朝陽同窓会総会に寄贈受入の上申をすべく、4月17日に第58回代表幹事会を開催いたしました。ところが代表幹事会に先立ち役員会を開催したところ、「寄贈受け入れは早急に結論を出さず、今暫く慎重に検討すべきではないか」との意見が出ました。

その主な理由は同窓会本体の財政状況が厳しいことが2018年度決算で判明したことです。つまり「維持経費を賄う収入が不確かな物件を持つのは、慎重であるべき」という主張です。

代表幹事会で種々の議論がなされましたが、「寄贈を直ちに受け入れるよう総会に具申することは見送り、もう少し検討を続けよう」ということになりました。

永野ご夫妻への対応

代表幹事会の結論を受けて4月23日（火）に西出さんから永野ご夫妻にとりあえず電話で結果をお話ししました。そして5月12日（日）にご夫妻に新宿高校までお越し願ひ、私と西出さんとで今までの経緯をお話申し上げました。ご夫妻からは「経緯は良く分かりました。しかし私どもも6月には米国に帰らなければならないなど事情があり、早期の決着が必要です。後輩生徒たちに秋川荘を基地に奥多摩の自然と触れ合ったいという、私どもの気持ちに変わりはありませんが、残念ながら寄贈を白紙に戻します。」とのお申し出がありました。私と西出さんは「この度のお申し出は、永野さんご夫妻の母校及び同窓会への愛情の賜物と深く感謝致して居ります。同窓会側の受入条件が整わず断念に至ったことを深くお詫び致します。」と申し上げ、新宿高校の校内、及び校庭を案内し、米国での思い出にさせていただきました。

以上